

私の夢

東京都・板橋区立西台中学校 3年 大澤 友加

私の夢は会社をすることです。

昨年祖父が突然の病に倒れました。4ヶ月間は一般の病院で治療を受け、その後4ヶ月リハビリ中心の病院に入院していました。半年ほど前、無事退院できて、家族みんなでほっと安心しました。病気の方は良くなりましたが、長い入院生活で足腰が弱ってしまい、家族の介護が必要です。入浴、トイレ、ベッドから起こしたり寝かせたりと、けっこう力がいらいます。介護する祖母たちの腰痛も心配です。介護を人間の代わりにやってくれる機械やロボットがあったらいいのにと、いつも思います。今、日本は少子高齢化の社会になっています。誰もが元気で長生きならいいのですが、介護の必要なお年寄りも増えてくると思います。介護に携わる家族の手助けになるような機械やロボットを扱う会社を作りたいと考えています。

そのために今自分が出来ることは、勉強することであり、たくさんを知ること経験することです。私にとって勉強することは二つの意味があります。まず一つは、介護についてたくさんを知ることであり、ロボットの研究開発のため、科学の知識を身につけるということです。経営者となるからには、利益をあげていかなければなりません。成功させるべくしっかりと計画や見通しをつけないといけないのです。そのために知識をしっかりと自分の物とし、行動力も身につけねばなりません。

また勉強することのもう一つの意味は、一緒に私の会社を支えてくれるビジネスパートナーを探すためです。私は演劇部と吹奏楽部に入っていました。コンクールに臨むとき、そこに属するメンバーの力の大きさを痛感します。また、学級委員をやっていて、運動会などの行事の運営にあたっています。そのとき、委員一人一人の考え方や行動力が、成功を左右することを知りました。会社も同じだと思います。ビジネスで成功するためには、いかに良い人材を集められるかにかかっています。私は多方面にわたる知識と経験を持ったパートナーに出会うため、高い志の人が集まる大学や専門学校に行きたいと思っています。

来春生まれて初めての受験をします。勉強することが、いやになることもありますが、これは起業という自分の夢につながっているのだと考えると、力がわいてきます。

会社を作る目的としては、もちろん利益をあげて自分の生活を豊かにすることがあげられます。しかし同時に、私が考えているのは、現在そして未来の社会全体の幸せに貢献できる企業です。これからの長寿社会、介護に携わる仕事については、人手不足が叫ばれています。これからはもっと大変になるでしょう。人の代わりに、人間のように介護をしてくれるロボット。目指すは、日本はもちろん世界に通じる企業です。私の会社を作る目的は、そんなところにあります。

会社の規模としては、資金の面からも小さいものから始めたいと思います。大きな資金で大きく始めてしまったら、途中で軌道修正することが困難になります。小さく始めて、結果が出せるようになったなら、また資金調達をして大きくしていきたいと思います。

資金については、銀行などの金融機関からの借入を考えています。しかし実績のないところや返済するしっかりしたところがないところには貸してもらえません。他の人が納得できるまで事業のことを考え、それを計画にしてちゃんと説明できなくてはなりません。

会社の形態としては、研究開発する部門と、それを製造する工場、そして営業部門が必要となります。最初は、自分や数人のパートナーで、すべてをやらなくてはならないでしょうが、行く行くは部門ごとに独立させていきたいと思っています。

起業できるかどうか、またその会社が成功できるかどうかは、自分自身の頑張りにすべてかかってきます。起業するなんて自分にできるのだろうかと不安になることもあります。しかし、その不安をはね返し目標に向かって歩んで行きたいと思っています。そして今は、目の前に迫った受験に頑張りたいと思っています。会社を作るということは、すべてを自分で考え行動するということです。責任も自分でとらなければならないということです。企業をまとめる経営者は人を惹き付ける魅力的なリーダーでなくてはなりません。学生時代の今は修業と経験のときと考えています。学校を卒業し行動のときを迎えるまで、しっかりと力を付けるつもりです。